

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	環境振動設計指針策定小委員会	主 査 名：濱本 卓司 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：国松 直
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現在改定作業が進んでいる「建築物の振動に関する居住性能評価指針」を設計実務において利活用するための手引きとしての「環境振動設計指針」を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度：①歩行振動，②交通振動，③風振動に関して個別に環境振動設計法を検討する。 ・2018 年度：「環境振動設計指針」の第 1 稿を作成する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査: 濱本卓司(東京都市大学) 幹事: 上明戸 昇(建設環境研究所)，国松 直(産業技術総合研究所) 委員: 石川孝重(日本女子大学)，井上勝夫(日本大学)，井上竜太(竹中工務店)，佐伯兼久(ヤクモ)，鈴木雅靖(鹿島建設)，高野真一郎(大林組)，原田浩之(三井住友建設)，松本泰尚(埼玉大学)，横山 裕(東京工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	環境振動設計指針策定検討 WG：「環境振動設計指針」策定のための具体的作業	
2018 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc40-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 37 回環境振動シンポジウム「環境振動設計指針の策定に向けて —設計と計測—」 参加者数 99 名 (資料名) 同上
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会を年 8 回開催した。 2. 環境振動測定分析小委員会との意見交換会を行った。 3. 環境振動シンポジウムにおいて，小委員会・WG の成果を報告した。
委員会活動の問題点・課題	なし

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1. 年 8 回の小委員会を開催し、設計フローに則った振動源ごとの具体的な設計法や性能マトリクスについて議論した。</p> <p>2. 居住性能評価指針改定小委員会との連携を強化し、「建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説」の発刊に向けて、設計者の立場からの意見を集約した。</p> <p>3. 設計のための振動計測と評価のための振動計測の違いを明確にし、環境振動測定分析小委員会との連携を強化するために意見交換会を行った。</p> <p>4. 環境振動シンポジウムにおいて「環境振動設計指針」策定に向けた進捗状況を報告し、会員からの意見や要望を収集した。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。